

若者目線で未来を描く

大府市高校生議会



平成28年6月に、選挙権年齢が18歳以上へと引き下げられました。よりよい社会を作るため、自分たち一人一人が社会を担っていることを実感し、主体的に政治に関わる意識を持つことが求められています。8月に開催された「大府市高校生議会」。高校生議員たちは、自分たちの暮らしやまちについて自ら考え、調査し、そこから生まれた質問を市長たちにぶつけました。彼らの準備段階から議会当日までの奮闘を紹介します。

選挙管理委員会 ☎(45)6271



大府市高校生議会って？

選挙権を得る前の高校生が、議会での「一般質問」を行うまでのプロセスを実際に体験します。知多半島では初めて開催されたもので、市内在住・在学の高校生20人が参加しました。



スタート～議会準備

memo 準備は2カ月半

高校生議会の準備が始まったのは、議会開催の約2カ月半前。議員たちは6つのグループに分かれ、日ごろ感じている疑問や問題点について市の現状を調べました。そして、未来の大府市の姿を思い浮かべながら準備会で質問内容の検討を重ねました。



環境

- 他の市町に比べて分別が緩く、ゴミ袋の中に資源となる物が入っていると感じる。
- 街の中に緑は多いが、花が少なく感じる。

安全

- 通学路に狭い道があり、登下校時に歩行者、自転車、自動車が接触する危険がある。
- 「0の日」パトロールなど地域全体で対策している。

スポーツ

- クラブチームがあると市の宣伝にもなり、市民が盛り上がる。
- 設備の充実した専用施設がない。

準備会・
現地調査を経て
高校生議員から出た
市への思い

まちの活性化

- 駅周辺に若者が利用できる施設が少ない。
- 大都市を目指すより歴史や伝統を重視したまちづくりが大切。

- 障がい者に対する取り組みが多いと感じる。
- ボランティアをする機会が多くて良いと思う。

福祉

教育

- タブレットなどが使いこなされていないと感じる。
- 情報通信機器以外にも学校環境の充実に力を入れた方が良いと思う。

- 便利で住みやすいので、市外の人に大府市をもっと知ってほしい。
- 観光地が少ない。
- 産業文化まつりやつつじまつり、大府駅前夏のまつりなど、市民が楽しめる祭りがある。
- あいち健康の森周辺が整備されている。



実際の投票手順で 代表者を選出

準備会では、担当職員から投票所で投票するまでの手順の説明を受けた後、実際の選挙で使用されている記載台や投票箱を使って、高校生議会当日にあいさつをする代表者選出選挙を行いました。



責任をもって投票したい

選挙を体験した大府高校2年の水谷有里さんは「投票の模擬体験ができて良かったです。一言で選挙といっても国、県、市単位でさまざまな種類の選挙が行われていることや、立候補者が準備段階から多くの手続きをしていることを知ることができ、とても勉強になりました。投票できる年齢になったら、責任をもって必ず投票に行きたいと思います」と感想を話してくれました。

Q1. 大府駅・共和駅周辺に新しく飲食店を作っはどうか

A. 来年4月、大府駅に「健康にぎわいステーション」をオープンする予定で、駐輪場などの立体化計画も進めています。皆さんからいただいた「若者が利用する新しい飲食店の誘致」という提案も今後の施策の参考にしたいと思います。

Q2. 交通安全について、道路を広げるなどの区画整理を行ってはどうか

A. 小学生、中学生、高校生のみなさんが安全に通学でき、高齢者の方々が安心して生活できるよう、道路整備事業と区画整理事業の両方を効果的に活用しながら、安心安全な道路整備を進めていきます。



質問者

鷹羽咲さん(刈谷北高校1年)
川村瑳歩さん(半田高校1年)
佐野裕城さん(同)
石黒拓海さん(同)



いよいよ一般質問

高校生議会の準備をする中で、大府市をもっと良くしたいという思いが生まれた高校生議員たち。議会当日は、その思いを「一般質問」として市長や教育長、市職員に対して投げかけました。



質問に対する回答

Q. 大府市の活性化について、ウェルネスバレーの地域に大型テーマパークをつくってはどうか

A. ウェルネスバレー地区は「げんきの郷」「あいち健康の森公園」など「健康・医療・福祉・農業・食」といった、健康長寿に関するテーマ性をもった施設が集積する「テーマパーク」ととらえることもできます。引き続き、ウェルネスバレー構想を推進して、健康長寿の一大拠点の形成を目指していきます。



質問者

高澤了輔さん(大府高校2年)
石川昇子さん(同)
水谷有里さん(同)

Q. ごみのリサイクルについて、市として何か取り組む予定はあるか

A. 平成31年完成予定の新しいごみ処理施設では、ごみを焼却した後に残る固形物「溶融スラグ」を道路の路盤材やコンクリートの骨材として再利用する計画です。また、パソコン・スマホなどの使用済小型家電を集めて東京オリンピックのメダルを作る運動を推進しており、大府シティ健康マラソン大会では、リサイクル金属でメダルを製作し、「大府選手権賞」として贈呈する予定です。



質問者

富永莉那さん(刈谷高校1年)
渡邊真里菜さん(同)
加藤暖基さん(同)
服部剛志さん(同)

これまででは自分から国や市の情報を得ようとしていませんでした。今回の高校生議会をきっかけに市や国の政治のことなども学ぼうと思えました。周りの友だちにも今回学んだことを伝えたいです。

政治について考えるきっかけに



近藤みのりさん

高校生議会を終えて



Q. スポーツを盛んにするためにやっていることや必要と考えていることは

A. 市では、子どもからお年寄りまで誰もが楽しむことができるニュースポーツの普及を図っており、ニュースポーツフェスタやミニテニス、ペタンク、インディアカなどの個別競技大会を開催しています。また、プロ選手や実業団選手を指導者に迎え、スポーツ教室を開催し、今年度からは、至学館大学レスリング部と連携した子ども向けのレスリング教室を開催します。



質問者

大城優輝さん(大府東高校2年)
立和名歩珠さん(同)
竹木蓮さん(同)

Q. 学校環境を良くするために必要と考えられることは

A. 学校生活に支障をきたさないように、トイレの洋式化、体育館照明LED化など、数多くの施設改修を実施しています。また、生きた英語を子どもたちに伝える外国語補助指導員「ALT」を小・中学校に配置するとともに、今年度から英語検定3級以上の受験料全額補助を始めており、英語教育にも力を入れています。さらに、支援を必要とする子どもたちの支援員や悩みごと相談員などの配置にも努めています。



質問者

横山友佑さん(刈谷高校2年)
竹内光一さん(横須賀高校2年)
近藤みのりさん(桜台高校2年)

高校生議員各グループの一般質問と

Q. 障がい者への取組をもっとアピールしてはどうか

A. 車いすや補聴器の購入の補助、ヘルパーの派遣といった全国一律の制度のほか、市では、重度の障がい者に対するタクシー料金の助成や理美容サービス、障害者手帳を取得した方や特定の疾病の方への手当の支給など、独自の制度も設けており、SNSやポスターなどの媒体を活用しながら、分かりやすく効果的な情報発信に努めています。



質問者

山本若奈さん(桃陵高校2年)
河野桃奈さん(同)
宇佐美笑実さん(同)



私たちの一般質問に対する答えを聞き、私たちの意見や提案を大事にしてくれていると感じました。私たち20名はこうして市と直接的にかかわり、市に意見を言いましたが、高校生に限らず、学生全体が市とかかわる機会が多くなるでしょう。それを理由に学生の意見を切り捨てないことを、お願いしたいと思います。

高校生議員代表者は、高校生議員の選挙で決めました。今回の高校生議会を通して選挙についても少し実感を持つことができました。自分たちが18歳になり、選挙権を持つようになったとき、真剣に投票と向き合い、自分が賛同または信用できる人に一票を投じようと思います。今回、一緒に参加した高校生の皆さんや市役所の皆さんなど、全ての方に感謝し、大府市の発展を願っています。

私たちの意見を切り捨てないで



横山友佑さん

高校生議員代表者あいさつ